

平成三十一年度入学試験

一般方式試験問題

国語

注意

- 一、開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
- 二、受験番号を解答用紙の二カ所¹に書き、答えはすべて**解答用紙**に書きなさい。
- 三、問題は**1**から**3**までで、十二ページにわたって印刷してあります。
- 四、終了のチャイムが鳴ったら、すぐに筆記用具を置きなさい。

セントヨゼフ女子学園中学校

1 次の各問いに答えなさい。

問1 線のカタカナを漢字に直しなさい。送りながが必要な場合は、それをひらがなで書きなさい。

(1) 小学校をソツギョウした。

(2) よいテンコウが続く。

(3) 自然のイトナミ。

(4) 大学の近くに部屋をカリル。

(5) ショチュウ見舞いの葉書を出す。

問2 線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

(1) 生活が便利になる。

(2) 勉強に努める。

(3) 勇ましい姿。

(4) 容易に解決する問題。

(5) 横着な態度を改める。

② 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(本文は、設問の都合で省略した箇所があります。)

人生というのには、不意に転機が訪れることがある。

春になると氷でかちかちだった①地面がやわらかくなって緑の芽が顔をだすように、幸福な※福音が訪れるときはだれにだって②すくなくからずあるのだ。ぼくにとってそれは、ぼくのいる聖マルグリット学院中等科にある女の子がやってきたことから始まった。

それは二十世紀のはじまりが、夜明けの太陽のように輝きだし、そしてはじまった、人類がはじめて体験するような大きな長い戦争がようやく終わりを告げ、その反動で世の中がなんとなく陽気でさわがしい、そんなころだった。

季節は春。

鼓草が萌えいずる、すべての色が() ときに、その子はやってきた。

彼女の名前はネネ。

名字はない。

だってその子はお父さんもお母さんもお母さんいなかったから。ネネは赤茶けた髪の毛を三つ編みに結っていた。その三つ編みときたら！片方が横を向いて、もう片方はびんぴんとほつれている。自分で編んだらうけれど、きつとその子があまり③器用じゃないことをあらわしていた。

女の子は海のような深い藍色の飾り気のない、だれかの※お仕着せのようなワンピースを着ていた。すくと頭からかぶるタイプのシンブルなデザインだ。胸もとにせいっぱいの飾りともいえないような、小さな赤いリボンがついている。④紺の靴は大きすぎて、その小さな足をひと足動かすごとに、す

るりと脱げそうになった。

⑤ネネは朝礼で生徒たちが集まった講堂の壇上に校長先生と並んで、どことなく所在なげに立っていた。

「みなさん」

講堂の生徒たちを壇上からみおろすように、校長先生がいった。講堂は天井が高く、壇上の校長先生は金の懐中時計をわざとみえるように、背広のポケットからだして手に持っていた。

初等部から高等部までの生徒たちの大勢の好奇の目が、⑥品定めするようにじつとネネをみつめていた。

「今日からみなさんのお友だちになるネネさんです。ネネさんにはお父さんもお母さんもないので、この学院が慈善事業、というか、まあ、このわたくしの慈愛の精神によってひきとられることになりました。ネネさんは、住むところもないので、これもわたくしどもの配慮で図書室の奥の部屋で暮らします。まだ十四歳なので、みなさんと同じように授業も受けます。ネネさんはわたくしたちとこの学院が育てるのです。ネネさん、しっかり勉強するよ

うに。それから、みなさんにもいいいますが、『想像』は禁止ですよ！^A そんなくだらないことはせず、科学を重んじます。わかっていますね^B？

「はい」とみながこたえた。

校長先生はネネをちらりとみた。

「ネネさんも、わかりますね^B？ 『想像』は禁止ですよ」

ネネはぼんやりしたまま、顔をあげた。

『想像』って、なんですか^C？

⑦ 校長先生は満足そうにうなずいた。

「よろしい。知らなければ、そのほうがもっとよろしい」

(中略)

それからさらにまた長い校長先生のスピーチがあり、みんなで歌を歌ったりしたあと、校長先生はもう一回いった。

「みなさん。『想像』することは禁止です！ ぼくたちは、わたしたちは、よい子は『想像』しません！ くり返してください！」

「ぼくたちは」

「わたしたちは」

「よい子は」

『想像』をしません！」

全校生徒がそうこたえて、ようやく集会が終わり、みんなは教室にもどった。

(中略)

うーん。あのね、この本をたった今読んでいるきみだけにこっそりうちあけるとね。じつはね、ぼく、すこしだけ魔法^{まほう}が使えるんだ。それは他人の夢^{ゆめ}にもぐりこめること。それからタロットカードでうらないができること。

ぼくは夢のなかで、他のひとと話すことができるんだ。

だから、ネネの夢のなかに泳ぎにいこう、とぼくは思った。きっとネネは「想像力」を持っている、特別な子どもだと思うから。ネネはかならず夢をみているはずだ、とぼくは思った。

(中略)

「ネネ。ネネ」

眠りの奥で、ネネの無意識^{むいしき}が目覚めるのを感じた。

「わたしを呼ぶのはだれ？」

眠ったまま、ネネの心がきく。ぼくはこたえる。

「ぼくがだれかは、今は秘密」

「わたしがずっと探しているだれかなの？」

「え？ きみ、だれかを探しているの？」

「わからない。なにも思い出せないの。それが⑧心をぎゅつとしばっているの。いばらの冠をかむったみたいに、心が痛むの。ねえ、あなたはだれ？」

ぼくはどうしようかと考えたけれど、まだぼくの正体を明かすことはしないようにしようと思った。

「ねえ、ネネ。きみがだれかを求めているとしたら、きつときみの心のなかにこたえはあると思うんだ」

「わたしの心に？」

「うん。悪いけれど、今、きみの心は空っぽだ。なんの波動も伝わってこない。だけど、⑨『想像力』をのばしていけば、いつかきつと心が揺れる。きみの探しているものは、そのとききみつかるんじゃないかとぼくは思うんだ」

眠ったまま、ネネは考えこんでいた。

「……今日、校長先生も聞いていたね、その言葉。でもわからない。『想像力』ってなあに？」

ぼくは、はっと気がついた。そして頭のなかで思いをめぐらせた。

「ええと……。そうか、言葉でいっても『想像』つかないよね。そうだな、〈もしも〉、って考えることだよ」

「〈もしも〉？」

「そう、たとえば、〈もしも〉きみの探しているだれかと逢えたら、どんな話をしよう、とかね」

「〈もしも〉……。そうね。わたし、いつも〈もしも〉って、思ってる。あなたにはそれがわかったの？」

「うん、たぶんね」

「でも、わたしには〈もしも〉のちからが足りないのね？」

「そうみたいだ」

「どうすれば〈もしも〉のちからは強くなるの？」

そういうネネの言葉にぼくは考えこんだ。ネネの想像力の泉がふたたび満たされるにはどうしたらいいか。そしてぼくはひとつだけ思いついたことがあった。

「ねえ、明日、授業が終わったら図書室で本を読むといいよ。いろんなことを学んで、すてきな大人になろうよ。なにもない荒野のようなきみの心に、花

を咲かそうよ」

ネネの長いまつげがふるえている。きつとぼくの声が、ネネの心に届いている。そんな予感がほうき星のように胸の奥に流れていった。「いいかい。図書室に行くんだ」

(出典 白倉 由美『ネネとヨヨのもしもの魔法』)

注 ※ 福音：喜ばしい、よい知らせ ※ お仕着せ：一方的に与えられた、決まりきったもの

問1 ——線①「地面」とありますが、これと同じ組み立ての熟語を次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 寒冷 イ 往復 ウ 風力 エ 開会

問2 ——線②「すくなくならずある」の意味として適当なものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア めったにない イ 少しもない ウ 少しだけある エ たくさんある

問3 () に入る語句としてふさわしいものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア あざやかになっていく イ ぼやけていく ウ 消えていく エ ちぐはぐになっていく

問4 ——線③「器用じゃないこと」を、漢字三字で言いかえなさい。

問5 ——線④「紺の靴は大きすぎて、その小さな足をひと足動かすごとに、するりと脱げそうになった」において、主語(一つ)と述語(二つ)の働きをしている部分を、それぞれ記号で答えなさい。

ア 紺の靴は ウ 大きすぎて、 エ その小さな オ 足を カ ひと足 キ 動かすごとに、 ク するりと ケ 脱げそうになった。

問6 ——線⑤「ネネは朝礼で生徒たちが集まった講堂の壇上に校長先生と並んで」とありますが、このときのネネの気持ちとしてあてはまるものを次の中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア あせり イ いらだち ウ 無関心 エ 不安 オ 期待

問7 ——線⑥ 「品定めするようにじつとネネをみつめていた」とありますが、これはどのような様子を表しているのですか。二十五字以内で説明してください。

問8 ——線A～Cの「？」の使い方が他と違うものを選び、その違いを説明しなさい。

問9 ——線⑦ 「校長先生は満足そうにうなずいた」とありますが、それはなぜですか。三十字以内で説明しなさい。

問10 校長先生の人柄ひとがらがわかる動作を本文から一つぬき出し、その一文のはじめの五字を答えなさい。また、彼がどのような人物か説明しなさい。

問11 ——線⑧ 「心をぎゅっとしばっているの。いばらの冠をかむったみたいに、心が痛むの」とありますが、ここはたとえの表現を用いてネネの状態を表しています。これとは反対の状態を表している箇所を文中から十五字でぬき出し、はじめの五字を答えなさい。

問12 ——線⑨ 『想像力』をのばしていけば』について、次の問いにそれぞれ答えなさい。

- (1) 「ぼく」は『想像力』とはどういうものだと考えていますか。本文から十三字でぬき出しなさい。(句読点や記号も一字に数えます)
- (2) 「ぼく」は『想像力』をのばす方法として、どのようなことをあげていますか。本文から八字でぬき出しなさい。

問題は次のページに続きます。

③ 次の文章とそれに関連したグラフを読んで、後の問いに答えなさい。(本文および図は、設問の都合で省略した箇所があります。)

後でも説明するが、人間にとってロボットとは、自らの生の根源に関わるものである。だから、人間がロボットに抱く※愛憎は、古く、深い。それにしても、なぜ、現在、ロボットに特に強い関心が集まっているのか。

その背景には、現代社会が抱えるさまざまな問題がある。

2015年5月、私は、「生命倫理に関する意識調査」(以下、「2015年5月調査」と略記。章末参照)を行った。そのなかで、「今あなたはどんなことに不安を感じていますか?」という質問をした。その結果をグラフ化したのが、図2-1である。

これによれば、現代の日本人にとって、最大の不安は「A」であり、第三位には「B」が入っている。これらは、そもそも人間にとって、※抗うことのできない自然がもたらす大きな危険であり、人間は自然に対抗できるような「力」を得たいと努力を続けてきた。

(中略)

ドイツの社会学者、ウルリッヒ・ベック(1944-2015)は、現代を「※リスク社会」と形容した。①科学技術がどれほど発展しても、さまざまな災害リスクはあくまでもつきまとう。

(中略)

また、②社会構造の変化への対応もロボットやAI技術に期待されている。

前節で示したのは、人間にとっては危険すぎる物理的リスクにロボットで立ち向かおうとするものだった。

これに対して、人間自体がもつ※脆弱性を保護するロボット利用の方向性として、次のようなものがある。

③現代の大きな問題として、少子高齢化ということがよくいわれる。図2-2は、高齢化の推移を示す。ここからわかるように、14歳以下の年少人口が減少の一途をたどっているのに対し、65歳以上の高齢者人口は増加を続けている。1950年に4・9%だった高齢化率(65歳以上人口割合)は、2015年の時点で26・7%まで増え、さらに2060年には「C」%まで増えると予想されている。

高齢になれば、身体の自由がきかなくなったり、病気になる傾向も高くなり、生活のサポートをしてくれる人がいることが望ましい。

(中略)

そこで介護ロボットが、この問題の解決策の一つとして、大きく浮上しているのである。

社会の高齢化とも関係するが、医学の発達は、医療を必要とする人の数を増やす。医学が発達すれば患者は減ると思うかもしれないが、そうではない。

これまで「病気ではない」と放置されてきた症状も、病気として認知され、加療されるようになる。【I】さらに、医療が高度化し、「^④もう治療のしようがない」とされた病気にも、有効な治療法が発見され、「治る病気」になる。【II】

図2-4は人口1000人あたりの病床数国際比較で、日本は病床の面では相対的に多い。【III】しかし、図2-5は病床100床あたりの臨床医師数だが、こちらは他国と比較して圧倒的に少ない。【IV】

この人手不足を補うためには、人材育成や職場環境の改善はもちろん必要だが、それも限界がある。よりよい医療のために、医療活動をサポートし、医療従事者の負担を減らすロボットやAIの利用はこれからの社会に必須といえる。

(*)、病気でなくとも、人は日常的な会話や「誰かと共に生きている」感覚がなければ幸せとは感じにくい。

にもかかわらず、近頃の社会では、独居(一人暮らし)世帯が増えている。若い層であれば、職場などで他人とつきあう機会があるだろうが、高齢層は家の中にこもりきりで、誰とも話さず一日を送る人も多いようである。その傾向は、とくに近所づきあいの少ないといわれる都市部で顕著である(図2-6)。

^⑤暮らしに潤いを求めて、ペットに対する関心が近年とみに高まっている。(*)実際のデータを見ると、むしろペットを飼っている人、^⑥ペットを飼いたいと考えている人は減少傾向にある。Dと考えられる。

ペットの代わりとして、ロボットを選択する人もいるだろう。

(中略)

では、一般の人びとは、こうした^⑦ロボット実用化の潮流をどのように見ているのだろうか。

先に触れた「2015年5月調査」の結果から、ロボット実用化に対する人びとの期待度をグラフ化したのが、図2-9である。

これによれば、最も期待度の高いのは「危険な作業を行うロボットの実用化」で、「非常に賛成」する人「まあ賛成」する人を合わせると、E%に達する。それに続いて、「産業を高度化するロボット」、「看護や介護をサポートするロボット」、「医療をサポートするロボット」に期待する割合(「非常に賛成」+「まあ賛成」)が、それぞれ、77・8%、77・2%、73・7%となっている。

反対に、「戦場で活躍するロボットの実用化」に賛成する人は、「非常に賛成」と「まあ賛成」を合わせても、34・0%と低い。ただし、「非常に反対」と「やや反対」を合わせた割合は31・7%である。

(出典 遠藤 薫『ロボットが家にやってきたら…』)

人間とAIの未来』

注 ※ 愛憎：愛することにくむこと ※ 抗う：外からの強い力をはねのけようとする ※ リスク：悪い事態が起こる可能性

※ 脆弱性：身体・器物・組織などが、もろく弱いこと ※ 顕著：きわだって目につくこと ※ 潮流：時代の流れ

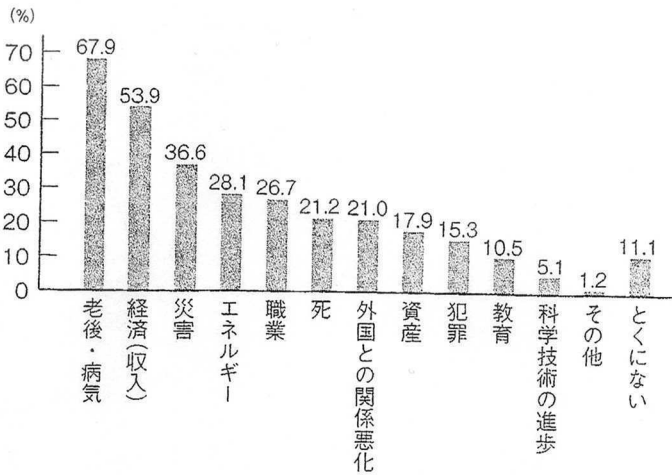


図 2-1 現代日本人が抱える不安

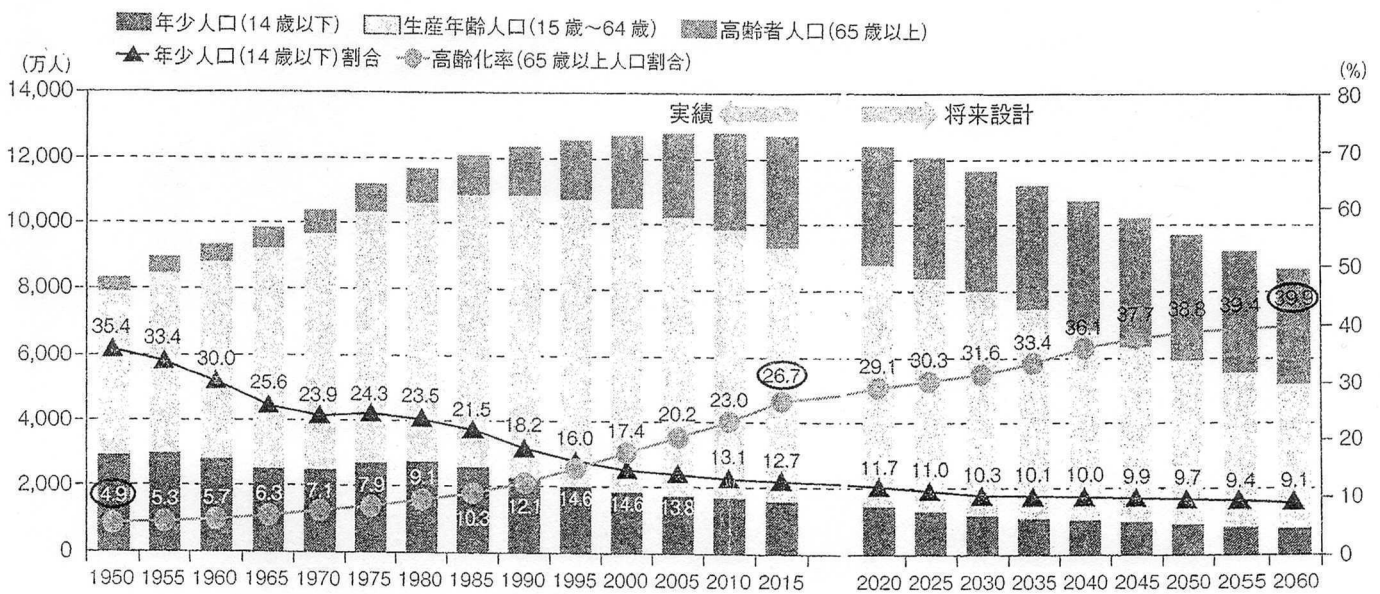


図 2-2 年齢3区分別人口及び高齢化率の推移(出典:『平成 28 年版厚生労働白書』)

(資料)
2015年以前:総務省統計局「国勢調査」および「人口推計」(年齢不詳の人口を按分して含めた)
2020年以降:国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」(出生中位・死亡中位推計)

(注)
1. 2015年は、総務省統計局「人口推計」(平成27年国勢調査人口速報集計による人口を基準とした平成27年10月1日現在確定値)
2. 1970年までは沖縄県を含まない

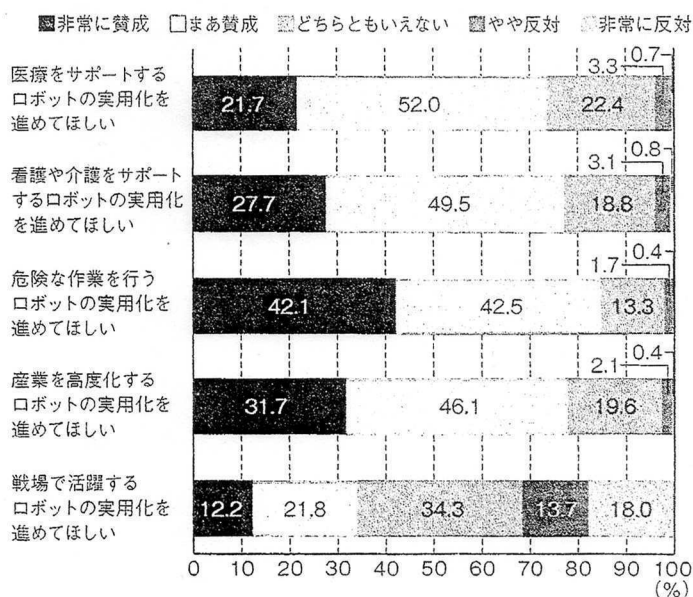


図 2-9 ロボットの実用化に対する期待度

問 1 ———— ・ にあてはまる言葉を答えなさい。

問 2 ———— 線① 「科学技術がどれほど発展しても、さまざまな災害リスクはあくまでもつきまとう」とありますが、現代社会における具体例を一つ考えて説明しなさい。

問 3 ———— 線② 「社会構造の変化」として、本文ではどんな話題を取り上げていますか。「く化」に続くように、五字以内で二つあげなさい。

問 4 ———— 線③ 「現代の大きな問題として、少子高齢化ということがよくいわれる」とありますが、少子高齢化はなぜ大きな問題のですか。本文にそつてわかりやすく説明しなさい。

問 5 ———— に入る数字を答えなさい。

問 6 ———— 線④ 「もう治療のしようがない」とありますが、同じ意味に言いかえた次の文の に入る、漢字を答えなさい。

のほどこしようなない

問 7 ———— 本文には次の一文が省略されています。この一文はどこに入りますか。文中の【Ⅰ】～【Ⅳ】から選び記号で答えなさい。
それはもちろん人間にとって喜ばしいことだが、患者数が増えれば、医療施設や医療従事者の必要数も増える。

問 8 ———— (*) に入る同じ接続語を答えなさい。

問 9 ———— 線⑤ 「暮らしに潤いを求めて」とありますが、暮らしの潤いとは何を指していますか。文中から二十一字でぬき出しなさい。(句読点や記号も一字に数えます)

問10 ———線⑥「ペットを飼いたいと考えている人は減少傾向にある」とありますが、Dにはその理由が入ります。三十字以内で具体的に書きなさい。

問11 図2―9を見て、Eに入る数字を答えなさい。

問12 本文の内容として正しいものには○を、正しくないものには×をつけなさい。

ア 今後、ロボットはもつと広い分野にわたって私たちの生活の中に入ってくる。

イ ロボットやAIは、リスク対策として期待されている。

ウ 医療現場では労働力不足やよりよい医療のために、AIの活用が今後必要である。

エ ロボットが高度に発達するとき、ロボットの存在が人間をおびやかす恐れがある。

問13 ———線⑦「ロボット実用化」とありますが、介護の分野で活躍するロボットをあなたはどのように考えますか。「賛成」「反対」の立場を明らかにして、具体例を一つあげ、八〇字から一〇〇字で書きなさい。

これで問題は終わりです。

平成三十一年度 一般方式入学試験解答用紙

注意 1 (I) (II) それぞれに受験番号を記入する。
2 ※印の欄には記入しない。

国語 (I)

問 12 (1)	問 11	問 10	問 9	問 8 説明	問 7	問 1 問 2	問 2 (1)	問 1 (1)
						問 3	(2)	(2)
						問 4	める (3)	(3)
						問 5 主語	ましい (4)	(4)
						述語	(5)	(5)
						問 6		

受験番号		
.....

12	11	10	9	8	6	1~3	2	1	※	得点
						7	4・5			※
										①

平成三十一年度 一般方式入学試験解答用紙

国語 (II)

問 13	問 11	問 10	問 8	問 5	問 4	問 3	問 2	問 1 A	3
	問 12 ア		問 9	問 6		化		B	
	イ			問 7					
	ウ								
	エ					化			

受験番号		
.....

13	11	10	8	5	4	3	2	1	3	※	得点
	12		9	6・7							※
											②

80

100